



記念館だより

2024年3月

「知っていることの大切さ」

加藤 輝勢子

2月3日（土）関東大震災100年事業の第2回シンポジウムが行われました。アフガニスタンで医者として活動されていた故中村哲氏の活動の映画を見て、中村医師と共に井戸づくりに関わって今なお「ペシワール会」（中村医師を支援するNGO組織）で支援している石橋氏の話の話を聞きました。また、生活協同組合の方々がいち早く能登半島地震の所に入って、自分たちも被災しながら、組合員に宅配をして働いている職員の方々に対してサポートした報告（現在も継続）の話を伺いました。

中村医師はアフガニスタンで医療活動をしていて、医療より前に、干ばつに苦しむ人たちに水が必要だと気付き、なんの知識もない中で、勉強してカブール川から水を引きました。現地の人から「気まぐれでされるのは迷惑だ」と言われながらも、信念を持って成し遂げられ、この志を継いでいる人たちが今もいます。何よりも食べるために兵隊に行っていた村人たちが水を引いて、また農業ができるようになるならと村に帰ってきて積極的に作業に参加したとのことです。平和は創り出すものです。「剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする」（ミカ書4:3）という聖書の言葉に聞き従いたいです。

2月9日（金）に2023年度2回目の地域連絡懇談会を行いました。今回は「カルトから子どもたち・家族を守るには」と題して、東駒形教会の酒井牧師におはなしを伺いました。

酒井牧師の長い牧会生活の中で、特にカルトからの救済活動に関わり、いろいろな任地での経験を交えてのお話でした。昨今、マスコミで取り上げられている団体のことを主に話されました。

今は不安な時代だからこそ、このようなカルトがはびこります。お話を伺う前に言われたことは、「大変ナイーブな話をするので、守秘義務を」と言われました。また、カルト側は姑息な手を使うということです。そして、いたずらメール等の嫌がらせをするということです。

インチキ募金（「発展途上国」に学校を作るために）や靈感商法（先祖の因果を開放する）などはマニュアルが決められていて、売る時は120%の力を出して責任を分担させられ、売り上げを伸ばすとほめられるということです。いずれにしても、人と人、家族、会社のコミュニケーションなどを良く取ることで、心のモヤモヤする隙に入り込まれないようにしたいです。カルトということを知ることの大切さを学びました。

学童クラブ



今年度も無事に農村留学が終わりました。今年は暖かく雪が例年より少ないとのことでしたが、子どもたちにとってはやはり雪は珍しいようで、全力で遊んでいました。雪上かるたでは、雪に足を取られながらも子どもたちがかかるたを目掛けて思い切り走っていました。初めは雪の上での走り方に慣れていないようでしたが、何度も繰り返すうちに上手に走るコツを覚えていました。自由時間では、自分たちで役割を決めてかまくらを作ったり、雪の山を登って高いところからそりすべりをしたりして楽しみました。角川の里の方々も本当に優しく迎え入れてくださいました。帰りの新幹線の中で「来年も絶対に行く！」と喜ぶ子どもたちの笑顔を見ることができました。(西村)

コスモス食堂



暖かい日も増えてきましたね。2月は
お好み焼きを作りました。自分たちでキャベツの千切りをして、他の具材と混ぜ合わせ、最後はお好み焼きの醍醐味である、鉄板でひっくり返すところまでボランティアの方たちに協力してもらいながらチャレンジしました♪グループごとに食べ、誰が上手にひっくり返せたかの話題で盛り上がっていました。

3月は「ちらし寿司」を作る予定です！
ぜひご参加ください★ (林)

3月9日(土) 10:00~13:00(予定)



記念館トピック

【賀川研究会】

「鶴沢よね氏 インタビュー録」

聞き手 金井新二館長 雲の柱 30号 2016年3月発行

配食ボランティアグループ

『コスモス会』のこと

鶴沢匡子著 賀川豊彦研究 第60号 2013年8月発行

2024年3月14日(木)
19:00~20:00

美術教室

第2~4週水曜日 15:00~17:00

講師：亀田谷 亜礼先生



子どもたちみんな、想像のままにのびのびと
お絵描きや工作を楽しんでいる美術教室です。

ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生



保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ
目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪